

**【瀬戸市】**  
**ネットワーク整備計画**

**1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）**

本市の学校数：25校（小学校16校、中学校7校、特別支援学校2校）

必要なネットワーク速度が確保できている学校数：25校（100％）

※「学校のネットワーク改善ガイドブック」（令和6年4月）に従い校内ネットワークの入口の帯域を測定（令和7年1月実施）し、同ガイドブックの「学校規模ごとの当面の推奨帯域」を全校において満たしていることを確認。

**2. 必要なネットワーク速度の確保に向けた取り組み**

現時点の児童生徒数における推奨帯域は満たしているが、令和8年4月の新小学校（既存3小学校を統合）の開校に向け、また、学級数が増加する学校等、児童生徒数の大幅な増加が見込まれる場合や、現状のネットワーク環境に問題が生じた場合については、必要に応じて現況調査や実地試験を行い、十分なネットワーク帯域を確保できるよう対応していく。

また、校務DX計画に掲げる施策の実現にあたり、大部分のシステム・サービスがクラウド上へ移行することから、アウトバウンド通信の増加が予想される。NEXT GIGAや次世代の校務デジタル化を推進するにあたり、より安定かつ高速なネットワークが必要不可欠となるため、インターネットへの接続方式の変更（センター集約型からローカルブレイクアウト型へ）や、より高速な回線への切り替えを検討していく。